

「新型コロナウイルスによる感染症にともなう典礼等の変更のお知らせ」

主の平和

新型コロナウイルスによる感染が拡大し、今後どこまで広がるのか、いつ終息するのかについてはまったくその目途がたっておりません。

すでに香港教区、シンガポール教区では、灰の水曜日のミサも主日のミサも中止と伝えられております。日本ではミサまでは中止すべき段階には至っておりませんが、ミサについても色々な点を見直す必要があると考えております。

昨日、東京教区では「新型コロナウイルスによる感染症にともなう注意喚起（第二次）」のお知らせがあり、かわちブロックでもその対応に従ったガイドラインを作成すべく、信徒の医師の方の助言もいただき、決定いたしましたのでお知らせ致します。

前回のお知らせへの追加事項

- 1、 灰の水曜日の灰の式は、感染予防の観点から中止いたします。
- 2、 ミサ中のホスチアやぶどう酒と水の奉納を当分の間、取りやめます。ミサのためのホスチア並びにぶどう酒と水は、ミサ前に別途用意し、祭壇近くに備えておくようにします。
- 3、 ドアノブを介した接触感染を防ぐため、入り口のドアを、ミサ開始前の適切な時からミサ開始までと、ミサ終了後に信徒が退去するまでの時間は、教会の入り口から聖堂内までの通路のドアは開放することをお勧めいたします。

前回のお知らせの概要

- 1、 体調不良の場合は、無理をせずに、ミサの参加への自粛をお願いします。なお、従来より、体調不良の場合は主日のミサに与る義務は免除されています。
- 2、 ミサ中にマスクを着用してもかまいません。また聖書朗読者や先唱者、侍者であっても、同様にマスクを着用してもかまいません。
- 3、 当面の間、聖堂入り口などに置かれている聖水盤には、聖水を入れないようにし、その旨を表示してください。
- 4、 聖堂や信徒会館の入り口には、手指消毒用のアルコールを設置するように努めてください。
- 5、 司祭や聖体奉仕者は、必ずミサ前に十分に手を洗ってください。
- 6、 聖体拝領は、できるだけ口からではなく、手で拝領するようにしてください。

一日も早く今回の事態が終息するように、また困難な状況におかれている方々のために、さらには治療と解決のために取り組んでおられる多くの方々のために、いのちのあたえ主である御父に祈りましょう。

皆様とともに、教会内外の兄弟姉妹の心身の健康に思いをはせ、賢明な行動をとっていけるように致しましょう。